



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / 高齢者集合住宅 / ケアハウス / グループホーム

No. 271号

2007(平成19年)1月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15

発行人：橋本正明

ホームページ：http://www.shisei.or.jp/

TEL 042-527-0031(代) FAX 527-2646

編集：広報委員会

Eメール：shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center

新年明けましておめでとうございませう

皆様には変わらさずお健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は故橋本良市前理事長の逝去に当たり、皆様からお寄せいただいたご厚情に心から感謝を申し上げます。享年92歳、最後は至誠特別養護老人ホームで手厚い介護を受け、天寿を全うした安らかな人生の終焉だったと、今日様に感謝しております。

さて、至誠ホームでは近年の厳しい経営環境の中でも、高齢者福祉のフロントランナーとしての役割を果たす努力を続けて参りました。昨年はその成果物として「事例研究その3」「ユニットケアはいかにして創られてきたか」「キートスホームの実践から」「新任介護職員指導・育成マニュアル」「ニューター制度虎の巻」と3冊の書籍を出版することが出来ました。これも日ごころからの至誠ホームスタッフの努力の賜物だと思っております。また至誠ホームをご利用いただいている方々が私たちを育ててくださっていることだと思います。地域のボランティアさん、利用者、ご家族、そして援助者としての職員が一体となって、ひとつの共同体を造っているのが至誠ホームだと強く感じた年でした。

至誠ホーム長 橋本正明

会です。そして団塊の世代が高齢期を迎える今後、ますます質の高い高齢者の福祉サービスが求められます。それは「してあげる」「してもらえぬ」福祉から、「協同し、共生し、共に作り上げていくコミュニティ創り」の福祉だと信じております。それぞれが生きがいを持ち、参加し、心身の健康を保持し、またそれぞれが自分以外の人に貢献し、支え合っている社会ではないでしょうか。

至誠ホームに集う多くの人々にとつての幸せと、この輪が大きく広がって福祉の本願を極めていくことに至誠ホームの社会的な役割があると思っております。この目的に向けて本年も誠実のその道を歩いていくことをお約束させていただきます。年頭のご挨拶いたします。本年も皆様のご指導、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



永年勤続者記念撮影

謹賀新年

旧年中は、至誠ホームにかわらない温かなご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。

昨年は国分寺市の要請により東元町に通所介護と居宅介護支援事業所等を開始いたしました。おかげ様で順調に事業を展開しております。

本年度はホームの第二次中期計画の展開として地域密着型事業の検討を進めたいと考えております。年々変化する福祉制度のもとで、旧年以上に、質の高い福祉サービス提供と、充実した経営を目指していきたいと思っております。

本年も一層のご指導ご支援の程よりしくお願ひ申し上げます。

平成十九年 元旦

社会福祉法人 至誠学舎立川

高齢者総合福祉施設 至誠ホーム

ホーム長 橋本正明

園長・職員・利用者一同

至誠ホーム後援会

会長 梅田尚裕

役員一同

錦ブロック

至誠特別養護老人ホーム

至誠和光ホーム(軽費)

和光診療所

スオミブロック

至誠ホームスオミ(ケアハウス・グループホーム)

至誠デイケアセンター

至誠ホームヘルプステーション

にしき福祉相談センター

至誠居宅介護支援事業所

シルバリアせいせい

至誠ホームコミホームヘルプステーション

至誠ケアセンターもとまち(デイホーム・居宅)

キートスブロック

至誠キートスホーム

至誠キートスデイサービスセンター

至誠キートスホームヘルプステーション

至誠キートス地域包括支援センター

至誠キートス居宅介護支援事業所

立川市柏地域福祉サービスセンター

至誠柏居宅介護支援事業所

ホームヘルパー養成講習事業

授産事業室(武蔵野・府中)

故 橋 本 良 市
元理事長・前至誠ホーム長

追悼特集

『感謝』

橋 本 富美子

平成18年11月1日、至誠ホーム創始者の橋本良市は享年92才、肺炎で死去しました。約2カ月半の入院生活の中で、度重なる検査、点滴で苦しい事もあったでしょうが、現在を自然に受入れている様子で、穏やかな、静かな表情でおりました。退院してホームで手厚いお世話を頂きましたが、再度入院し、家族・甥・姪の見守る中、静かに静かに旅立っていました。

主人と私は昭和19年6月1日に結婚、62年5ヶ月の結婚生活でした。応召以外は、同じ目的をもって一緒に働き、共に歩いてきました。

長い生活の中で主人から他人の悪口を聞いた事はありませんでした。また他の人を押しつけて自分が前に出る事もなく、また自分の自慢話や、苦勞をした愚痴を聞いた事ありませんでした。若い時に禅宗の教えをうけた事もあるでしょうが、この高い精神性は天性のもののように思います。

本人は細かい事にこだわりをもたず、至誠ホームの仕事を通じて、お年寄り(ホ

ームの利用者だけでなく)の幸を願いこれを追求しその夢と希望を実現するため努力をし、その成果に誇りをもっておりました。

それは、平成2年に書いた「夢を追い、努力する、そしてその成果に誇りをもつ」そこから生甲斐が生れ苦勞が楽しみとなる」という文章に記されております。

私は主人のその夢の実現のために、バタバタと働いて参りました。主人はその誇りと全ての方々への感謝であの様に穏やかに死を受入れて旅立ったものと思います。

お別れの会には旧知の方々、関係の方々があのように多数ご参列下さいました。これも今の至誠ホームが立派に活動をしているお陰と思えます。主人のもつ



た理想、夢を実現して下さっている職員関係の皆様深く感謝しております。有難うございました。
平成18年11月23日
合掌

『弔辞』

至誠ホーム 職員代表
至誠特養ホーム5階介護主任

櫻 井 桃 世

至誠ホームの職員を代表いたしましてお別れの言葉を申し上げます。

良市先生が昭和26年に養老施設を始められてから、至誠ホームにとどまらず、日本の高齢者福祉に貢献され、影響を与えてこられたことは私が申し上げるまでもありません。

そして、至誠学舎理事長を退任なさってから徐々にサービスの受給者として、先生が創りあげてこられた事業を利用されました。それは制度も整わない昭和50年代初め、独自の事業として開始したデイサービスや訪問介護、ショートステイサービスなどでした。

そしてご自宅での生活が難しくなられた昨年の春、私の勤務する至誠特別養護老人ホームに入居されました。

有名な病院でもなく、新しく立派な施設でもなく、今では古くなったとはいえご自身がお創りになった施設を入居利用されました。このことは、私たち職員にどれほどの自信と誇りを与えてくださっ

たかわかりません。
先生は多くの教えを私たちに残してくださいました。なかでも、参会の皆様にお配り致しました冊子にございますように「人は皆幸せであれ」の教えは私たちの胸に強く響きました。

先生がこの古くなった、特養に入居されたことは「誰もが垣根なく幸せになることが福祉の基本であり人や環境によって福祉サービスに差をつけるべきではない」という教えの実践であり、「福祉は慈善のような上下の関係ではなく、相互の関係である」という教えであったのではないのでしょうか。

本当に最期まで身をもって私たちに教えを残してくださいました先生と、そうした機会を快く受け入れてくださったご家族の皆様へ感謝申し上げますと共に、これからも先生の教えを全うし、高齢者福祉に貢献できるように努力してまいりますことを誓います。

橋本良市先生、本当に有難うございました。
合掌

〈一部省略〉

『お別れの言葉』

至誠ホーム 利用者代表
至誠和光ホーム

瀬 谷 雪 子

良市先生、良市先生のそのやさしい笑顔に、もうお会いできないと思うと、と

でも寂しいです。

良市先生はお元気な頃、良くおっしや
つていらつしやいましたね。施設を建て
る時も、サービスを考える時も「もし自
分の親が、そして自分が入るとしたら、
どんな施設だったら良いのかな」と。い
つもいろいろな事を考え、実行し、そし
て、私どもがお世話になつてゐる、至誠
和光ホームも始められたのですね。また
環境を良くする事が、そこに生活する人
にとつてとても大事だと思ひ、庭をいつ
も美しく整えることに心をくだいて下さ
いましたね。

私ども軽費老人ホーム入所者一同、こ
こで安心した生活を送ることが出来るこ
とに、大変感謝致しております。

良市先生その穏やかな「人となり」
を思ひますと、自分の親のようにも思ひ、
私たちも安心して自分たちの家のように
感じて、生活しておりました。

最近では、花の咲く「けやき広場」を、
車椅子を使いながらご夫婦でお散歩され
ていたお姿が、今も眼に浮かんで参りま
す。もうお会いできないのかと思つと、
本当に寂しく残念でございます。

良市先生、長い間本当に有難うござい
ました。どうぞ安らかにお休みください
ませ。ご冥福をお祈り申し上げます。

合掌
〈一部省略〉

『御 礼』

橋 本 正 明
橋 本 富 美 子

今年の紅葉はあまり青空に映える輝き
が無い様に感じられます。また故人のお
別れの会、11月11日には、前後の日々は
抜けるような初冬の青空であったのに、
その日ばかりは雨が降り、寂しい思いを
させられました。

故人は、「福祉への夢と希望を実現す
るための努力は一つも苦勞ではない」と、
日頃から言つておりました。戦後一貫し
て、至誠学舎の社会事業に従事し、昭和
26年（1951年）の至誠老人ホームの
開設以来、自らの生活は全て、至誠ホー
ムの仕事に捧げた故人の人生でした。財
政的にも貧しいホームの経営のなか、理
念をしっかりと持ち、広い心で多くの方々
に至誠の心を伝え、仕事としての高齢者
福祉事業を開発してきた人生だったとい
えます。

老人32人が生活する小さな老人ホーム
としてまかれた種が、半世紀を経て今の
至誠ホームまで成長することが出来たの
です。そして晩年は自ら特別養護老人ホ
ームに入居し安心した介護を受けること
が出来たのです。寂しい雨は故人の涙で
はなく、残された私達の哀しみだったの
だと思ひがきます。

故人の戒名「誠徳院積良法」はホーム
納骨堂をお守りいただいている光西寺様

から頂きました。とても故人を彷彿させ
るよい戒名とありがたく思つています。
これで故人も極楽浄土から至誠ホームや
私達遺族を見守つていてくれることと心
安堵しております。
遺骨は八王子霊園にあります橋本家の
墓に埋葬いたしました。また春の彼岸に
はホームの仲間の皆さんと一緒に、ホー
ム納骨堂にも分骨する予定です。
故人は皆さんに感謝しながら心安らか

に逝けたことだと思ひます。皆様方から
の生前のご厚情に心からの御礼を申し上
げます。
なお、皆様方から頂戴したご芳情は故
人の心を斟酌し、至誠ホームと地域社会
でお世話になつた社会福祉協議会等の各
種団体へご寄付させていただきますこと
ご報告させていただきます。
ありがとうございました。
平成18年11月23日

【橋本良市・福祉実践 心の基本から】

- 一、福祉とは人間尊重を基本とするものなり。福祉の心とは思いやり、いたわり
の心なり。
- 二、ホーム老人と在宅老人とを区別するこ
となく一体的にとらえ、必要な福祉サ
ービスを必要な人に、必要な時に行な
えるように努力すべし。
- 三、身分や財力、費用負担の程度によつて福
祉サービスに差をつけるべきではない。
仏教は一視同仁。福祉は一視同尊。
- 四、福祉サービスは、全市民が支え手であ
り、全市民が受け手である。現在の支
え手も老境に入れば受け手になる。ま
た、交通事故などにより、明日から受
け手になるやもしれぬ。
- 五、養老院は貧困老人、敗残者をイメージ
する。老人ホームから、このイメージ
を払拭しなければならぬ。現在の老
人ホームの建物は欧米にも劣らず、費
用負担も増額されている。養護老人ホ
ームおよび軽費老人ホームの入所条件
から経済条件をはずし、保育園のよう
- 六、施設福祉と地域福祉を社会福祉に統合し
「住みよい福祉のまちづくり」を目指す
べし。
- 七、施設は「福祉のまちづくり」において
福祉センター的役割を果たすべし。
- 八、施設は市民の福祉を願ひ、地域ぐるみで
「住みよい福祉のまちづくり」に努力す
べし。
- 九、慈善は金持ちが貧乏人に恵みを与える
上下の関係であるが、福祉は相互扶助
を基本とする平等、水平の関係である。
- 十、ボランティアは地域における大切な福
祉資源である。福祉人口はその地域の
福祉レベルを示す。地域福祉活性化の
ために、ボランティア人口の増加を計
るべし。

昭和63年（1988年）7月3日
社会福祉法人至誠学舎理事長
至誠ホーム長
橋 本 良 市
「人はみな幸せであれ」序文より



「さわやかプラザもたち」の2階と1階の一部が「至誠ケアセンターもたち」

橋本良市先生のご逝去

元至誠学舎理事長・前至誠ホーム長でいらつしやうた橋本良市先生が、11月1日にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。(今月号の2・3ページに特集記事を掲載していますので、ご覧下さい)。

「至誠ケアセンターもたち」オープン

4月1日、国分寺市東元町に「至誠ケアセンターもたち」が開設の運びとなりました。在宅介護支援センター

(介護よろず相談、国分寺市委託事業、居宅介護支援センター(ケアプラン作成)、通所介護・認知症対応型通所介護(デイサービス)のサービスを行っています。開設から9ヶ月経過しましたが、引き続き地域住民の方々に信頼されるサービス拠点を目指して、努力していきたいと思っています。

橋本正明ホーム長
東京都福祉功労賞受賞

10月2日、橋本正明ホーム長が都庁5階大ホールにて、社会福祉事業の振興に尽力し、功労顕著であるということで、東京都福祉功労賞を受賞されました。

介護予防スタート

今年度4月の介護保険法改正に伴い、デイサービスの

事業所において、介護予防を重視した取り組みが行われることとなりました。「栄養改善」「口腔機能向上」「筋力向上」などのメニューに沿って、サービスの充実に努めています。

「北部中さいわい地域包括支援センター」「にしき福祉相談センター」スタート

今年度4月の介護保険法改正に伴い、至誠キートスホーム内に「北部中さいわい地域包括支援センター」が誕生しました。また、これまで立川市錦町において運営してまいりました立川市至誠在宅介護支援センターは、新たに「立川市にしき福祉相談センター」として再スタートしました。詳しくは至誠ホームだより267号(平成18年5月号)にて紹介してありますので、ご参照ください。

記念シンポジウム「ユニットケアの明日を考える」開催

至誠キートスホームの実践報告である「ユニットケアはいかにして創られてきたか」至誠キートスホームの実践

から「」が出版されたことを記念して、7月18日、アイムホールにてシンポジウムが開催されました。シンポジストとして厚生労働省老健局計画課の川尻良夫氏、NPO法人特養ホームをよくする市民の会理事長の本間郁子氏、認知症介護研究・研修 東京センターユニットケア推進室長の秋葉都子氏をお迎えし、200名以上の多数の方が参加されました。



この一年

けやき広場に時計が寄贈される

錦・スオミブロックの利用者の憩いの場として親しまれている「けやき広場」に家族会から時計を寄贈していただきました。朝の体操やお散歩のとき等に、皆さんに時を伝え親しまれています。

至誠ホームからの情報発信
〜3つの書籍の出版〜

今年度、至誠ホームブックレット⑧「至誠ホームにおける事例研究・実践報告その3」、至誠ホームブックレット⑨「すぐ使える！新任介護職指導・育成マニュアル チューター制度虎の巻」(筒井書房)、「ユニットケアはいかにして創られてきたか〜至誠キートスホームの実践から〜」(中央法規)の3つの書籍が出版されました。

特和会運動会

特養利用者約100人が参加しました。「パン食い競争をしたい」という利用者の意見より実現しました。種目は、パン食い競争、大玉送り、

2006年

玉入れ、輪投げなど。紅白戦で行いましたが、利用者の皆さんは楽しみながら、にぎやかに行われました。

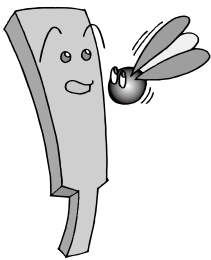


フィンランド派遣研修

フィンランド・パキラホームとの交換研修に2名の職員を選抜し、8月30日から9月27日までの4週間派遣いたしました。またフィンランドからも2名の研修生を迎え、10月26日から11月22日までの4週間研修されました。至誠ホームとパキラホームとの交流により、新たな息吹が生まれ、サービス向上に努めております。

特和会夕涼み会

特和会で楽しいことをしたい！と8月に夕涼み会を行いました。50名以上が集まり、おしゃべりと食べ物やビールを楽しみました。宴もたけなわとなると皆と歌を歌って大いに盛り上がり、『またやりたい』との声も寄せられ、会は大成功でした。



左から河上麻紀、ミンナ・ランタネン、トゥーラ・ハカラ、林美保 前列バイヴィ・ヘッレン

■社会で起こった出来事

- ・荒川静香選手、トリノオリンピックフィギアスケートで金メダル。
- ・「イナバウアー」が流行語大賞に。
- ・内閣総理大臣に安倍晋三氏就任。
- ・郵政民営化法成立。
- ・秋篠宮家に「悠仁様」お誕生。
- ・冥王星「矮惑星」に。

後援会コーナー

後援会費納入者ご芳名

誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。
(平成18年10月1日~平成18年11月30日 敬称略・順不同)

- 清水富男 清水真理子 山崎厚子
- 沢井光枝 近藤英三郎 荒井文
- 神谷良江 藤野タカ 吉ヶ江勉
- 旬食工房707 三中西せい子
- 室崎清光 内田好彦 三宅奉子
- 大山勝美 勝木敬子 高田智恵子
- 松本 弘 古谷綾子 榎戸フミ
- 伊東とし子 以上21名



ご挨拶
後援会 会長
梅田 尚裕

あけましておめでとうございませう。
本年もよろしく願います。

さて、現代はかつてないスピードで少子高齢化が進み、平成12年4月から介護保険制度が導入されたことで合理的な運営を要求され、成果も上つてきていると思います。しかし、過剰に合理化されると機械的にならざるを得なくなり、ここところが難しく、「明るく、健康的で豊かな高齢期を」との共通の願いを持つ後援会の私たちは、心しなくてはならないと思います。先日の日経新聞によりますと、10年後にはより一層の少子高齢化社会とな

り、学校が余り、その施設を老人ホームとして使うことになるとの予想が出ておりました。しかし、現状では立川市の特養に入れない待機者は、いまだ600人位いるようですので、やはりもつと多くの施設が必要である、との発言をしていかなければならないと思います。

年頭にあたり今年も後援会を宜しくお願いいたします。

後援会理事 深沢よし子
新春おめでとうございませう

今年こそは日本列島無事平穏な、そして明るいニュースの日々を、祈らずにはいられません。至誠ホームのお年寄りも恒例の祝膳を、眼前の富士の麗峰を拝みつつ、恙無く新年を迎えることができました。

地域の方々、後援会の皆様の幸多き事をお祈り申し上げ、今年も相変わらぬのご厚情とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

後援会加入のお願い

皆さまのご協力をお願い致します。お申し込みは左記事務局へ

●至誠ホーム事務局

042-1527-0031

●至誠ホームキートス事務局

042-1538-2323

会費 一口 2000円

至誠ホーム利用者状況

(平成18年10月1日~18年11月30日) ():実人数

事業内容		10月	11月	累計
至誠ホーム統括事業本部				
自主事業	ふれあい夕ごはん事業	601(55)	603(58)	4,608
	ホームケア食事サービス	0(0)	0(0)	39
至誠ホーム錦ブロック				
委託事業	機能訓練事業(特養)	3(1)	3(1)	27
	自立者短期入所事業(軽費)	12(1)	0(0)	43
介護保険事業	短期入所生活介護(特養)	580(67)	580(64)	4,537
	保養ステイ事業(軽費)	39(4)	50(5)	296
至誠ホームスオミブロック				
委託事業	生甲斐活動支援通所事業(至誠デイケアセンター)	9(1)	8(1)	60
	通所介護(至誠デイケアセンター)	805()	744()	6,178
介護保険	通所介護(もとまち)	310()	301()	1,714
	訪問介護(至誠ホームヘルプ)	1319.5(72)	1160(71)	9,509
	訪問介護(コミホームヘルプ)	600(40)	536(39)	4,136
	居宅介護支援事業(至誠)	149	148	1,104
	居宅介護支援事業(コミホーム)	休止	休止	225
	居宅介護支援事業(もとまち)	36	33	184
至誠ホームキートスブロック				
介護保険	短期入所生活介護(キートス特養)	693(85)	648(82)	5,102
	通所介護(キートスデイサービスセンター)	961()	969()	7,548
	訪問介護(キートスホームヘルプ)	1050()	1047()	8810.5
	居宅介護支援事業(キートス)	170	171	1,482
委託事業	自立者短期入所事業(キートス)	11(1)	0(0)	42
	通所介護(柏)	719()	725()	5,345
介護保険	居宅介護支援事業(柏)	70	66	601

*入居施設定員 至誠特別養護老人ホーム 150名 至誠ホームキートス 70名
至誠和光ホーム 50名 至誠ホームスオミ・ケアハウス 50名
至誠ホームスオミ・グループホーム 9名
*高齢者集合住宅 シルバーピアせい 15戸

ボランティア受入/福祉学習協力状況

種類	期間	
	平成18年度 10月~11月	平成18年度 累計
一般ボラ	1,853人	7,200人
ボランティア体験	83人	203人
実習・研修	332日	894日
体験学習	167人	569人
見学・視察	45人	229人

ボランティア活動状況 活動内容別

活動内容	期間	
	平成18年度 10月~11月	平成18年度 累計
生活支援	435	1,633
健康づくり	260	1,070
生き甲斐支援	660	2,605
地域支援	242	1,061
行事	223	731
調理	0	0
事務等	33	100
ボランティア体験	83	203
合計	1,936	7,403

ボランティア活動状況 地区別

地区別	期間	
	平成18年度 10月~11月	平成18年度 累計
錦地区	1,164 <40>	4,360 <120>
幸・柏地区	772 <43>	3,043 <83>
合計	1,936 <83>	7,403 <203>

<>はV体験で内数

ホーム日誌

平成18年10月1日～平成18年11月30日

- 10月 赤い羽根共同募金ご協力開始... 小学校運動会参加... 介護予防教室... 介護予防通所事業スタート... センターもとまち

- 17金 特養運動会(特和会主催)
18土 ふれあいミュージックフェスティバル...
23木 柴崎町生活支援講座...
24金 フラダンスグループハイビスカス公演
25土 健康セミナー「耳についての話」

感謝録

温かい御支援・御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。
平成18年10月1日～平成18年11月30日 (敬称略)

①金員の部

- 中村 律 (株)立川紙業 下東玲子
織壁哲夫 柏寿会友納寛幸
橋本富美子 春山順子 あゆみの箱

②物品の部

- 大森玲子 田中一夫 戸田登代子
至誠ホーム出版会会長岡田清
光西寺 中村八重子 岡野シゲ

- ③ボランティア
(1)一般ボランティア(錦地区)
【立川市】 あすなる洋裁ボランティアグループ
【国分寺市】 蔵多美智子
【他市】 中藤ボランティア会

- 山下記代子 山下 忠 和田恵美
和田夏子
【日野市】 今井幸子 石井匡代 伊藤信子
小澤洋一 岩下昭子 大場春子
阪口まり子 金尾真砂子 小塩菊子
中山きよ子 竹内美幸 直井 節
沼田幸子 永島律子 西垣まき子
目黒美知子 安永哲子 榎田輝子
渡辺洋子 光グループ 岩城トミ
【国分寺市】 蔵多美智子 国生友子 小林一子
小松原智子 武田利子 温品典子
【国分寺市】 木村富吉 国分寺婦人Vグループ
横山賢一 鈴木久美子 諸井 緑

- | | | |
|-----------------|------------|--------|
| 大家千枝子 | 小川経子 | 織原良江 |
| 金森 耐 | 菅生佳子 | 川崎芳男 |
| 河野美和子 | 菊池正勝 | 岸 みつ江 |
| 木村浩通 | 草場久子 | 葛野芳子 |
| 久保敏子 | 小林由美子 | 黒川牧子 |
| 黒田眞知子 | 小坂邦子 | 小嶋アキ子 |
| 児玉早苗 | 埼玉百子 | 坂口洋子 |
| 坂本伍郎 | 櫻井百合子 | 雑花充幸 |
| 佐藤容子 | 澤田夏絵 | 三中西せい子 |
| 柴 清次 | 清水淳子 | 清水真理子 |
| 鷺見絵梨香 | 諏訪幸子 | 高塚光二 |
| 高橋明子 | 高橋 貞 | 高橋雪子 |
| 武井容子 | 田中秀和 | 田中清子 |
| 田中裕子 | 豊泉佑季子 | 中島加代子 |
| 中根幸子 | 中野庸夫 | 中丸恒子 |
| 中村克久 | 中山君子 | 成田 綴 |
| 野澤勝治 | 服部ちづ子 | 浜野好雄 |
| 林田満江 | 平田雅子 | 藤井美千代 |
| 藤田桂子 | 別府ひろ子 | 細村ふみ |
| 丸山茂子 | 水島寿満子 | 溝口礼子 |
| 宮坂一栄 | 持丸 治 | 持丸弘子 |
| 森下成子 | 山田尚子 | 山本美佐子 |
| 吉田二二穂 | 渡辺直美 | 和田靖史 |
| 【国分寺市】 | 井上充恵 | 大山永子 |
| 小野俊雄 | 勝倉ナホミ | 加藤康子 |
| 木村美佐子 | 鈴木小波 | 土岐良江 |
| 中水乙重子 | 松村八千代 | 山本佳子 |
| 【他市】 | シルバー・ベル | |
| 花島演芸 | ロゼラニ・ウイングス | |
| 内田喜美子 | 内田純子 | 木島 満 |
| 久保田康子 | 熊谷亜矢子 | 高野信子 |
| 高橋桂子 | 高橋信夫 | 近見彰則 |
| 手塚 明 | 中村麻美 | 中山陽子 |
| 野沢由美子 | 花島ふくろう | 林 幸子 |
| 土方和子 | 平田克寿 | 保坂栄子 |
| 吉岡真紀 | 吉岡正晶 | 渡辺梨代子 |
| 一般ボランティア(柏セクター) | 延643名 | |
| 岩田綾子 | 石橋京子 | 岩本賢子 |
| 大竹勝義 | 大山紀子 | 黒田直子 |
| 小林正子 | 小林好子 | 斉藤 究 |

福祉学習協力

- 高橋明子 高橋雪子 中野庸夫 延86名
- 廣木かほる 藤原恵美子 土方和子
- 師岡恵美子 鷺沢芙美
- (2) ボランティア体験
 - 立川市立第三小学校 延40名
 - 立川市立第七小学校 延40名
 - 立川市立第一中学校 延43名
 - 立川市立第九中学校 延43名
 - 立川市立幸小学校
- (3) 見学・視察
 - 社会福祉法人慧誠会「帯広けいせい苑」
 - リンコピン大学マリー・アンベッケン助教他2名/社会福祉法人翔陽会「清明庵」山口匡彦施設長他1名/日本スウェーデン福祉研究所グスタフ・ストランド所長他1名/立川市地域包括支援センター運営協議会中嶋充洋委員長他12名/千葉大学大学院看護学科永野みどり助教教授/厚生労働省老健局計画課金井正人課長補佐他1名/老人クラブ柏寿会友納寛幸会長他4名
- フィンランド研修生2名(18日) 延332日
- (2) 体験学習
 - 教員免許取得のための介護等体験(東京女子体育大学) 32名(各5日)・1名(1日)/立教大学大学院生3名(各2日) 延167人
- (3) 見学・視察
 - 社会福祉法人慧誠会「帯広けいせい苑」
 - リンコピン大学マリー・アンベッケン助教他2名/社会福祉法人翔陽会「清明庵」山口匡彦施設長他1名/日本スウェーデン福祉研究所グスタフ・ストランド所長他1名/立川市地域包括支援センター運営協議会中嶋充洋委員長他12名/千葉大学大学院看護学科永野みどり助教教授/厚生労働省老健局計画課金井正人課長補佐他1名/老人クラブ柏寿会友納寛幸会長他4名

ボランティアさん募集

①日常生活援助 利用者の身辺介助、食事介助、お話し相手 など
 ②ふれあい夕ごはんの配達 富士見町・柴崎町・羽衣町・錦町方面が主な配達区域です。少しでも時間をいただける方は左記までご連絡下さい。
 ③シーツ交換のボランティアさん 毎週火曜日 午前9時30分〜11時 毎週でも隔週でも可。職員が丁寧に手順をご説明いたします。

至誠ホーム(錦) TEL 042-527-0035 佐藤・景谷まで
 至誠ホーム(キートス) TEL 042-538-2323 西原まで

グループホーム 短期利用のご案内

至誠ホームスオミ・グループホームでは、認知症であるが、ある程度身の回りの事が自分で出来る方の一時的なご利用、ご家族、研修・実習生の方々の体験的なご利用のためにゲストルーム一室を用意いたしました。どうぞご利用下さい。

利用料は、一日 9500円(居住費、光熱水費、食費を含みます) ケアサービスが不要の場合は、一部減免をします。

問い合わせ・申し込みは、至誠ホームスオミ・グループホーム 電話 042-527-0279

「千寿会」鈴木洋/東京都福祉保健局 狩野信夫高齢対策部長他1名/東京都教育庁生涯学習スポーツ部計画課平田鐘明係長/立川第二中学校ボランティアクラブHWP企画・立川青年会議所 計45名 累計229名

(4) ご慰問・ご招待
 ふれあいミュージックフェスティバル 2006プレコンサート/国分寺婦人ボランティアグループフラダンスチーム「ハイビスカス」 計2件 累計6件

●お詫びと訂正
 前号(第270号)の記事の中で誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

□バザー感謝録追加(3頁)
 物品の部 梶浦兆弘様